

未来を考えるきっかけづくり IN 北海道科学大学

学生へ技術士の魅力を伝える「技術士を知ろう！」

1. はじめに

平成20年度から始まった「学校へ行こう！」名称改め「技術士を知ろう！」。これまで北海学園大学や高等専門学校にて実施してきましたが、今年は実施学校を大幅に増加、北海道科学大学でも開催しました。最初の講師として北科大(旧道工大)卒業生の寺西技術士が決定。当日、寺西技術士はいままで経験したことのない緊張感が漂っていました。

2. 実績概要

開催日時：H28.6.2(木) 13:00～14:30

講義内容：技術士とは？・役割・責務等の説明

技術士の仕事内容と役割

(25分講演×2篇、質問コーナー等)

受講生：北海道科学大学都市環境学科

1年生50名、2年生6名

細川准教授、井田准教授

参加者：齋藤佳彦(講師・幹事)、

寺西一也(講師・幹事)

仁田委員長、小澤副委員長、平岡副委員長

千葉幹事長、永田幹事

3. 技術士とは？ 技術士を知ろう！

はじめに、今回の司会役である永田技術士が全体進行の説明を行い、絶妙な話でがっちり学生の“心”を捕えた後、齋藤技術士が「ドボクのお仕事と技術士」、その後、寺西技術士が「技術士としての業務取組紹介」と題して講演を行いました。

4. 齋藤技術士「ドボクのお仕事と技術士」

齋藤技術士からは、暮らしや安全を守るまちづくり(土木の仕事)についての必要性や仕組み(行政、建設コンサルタント、建設会社)、技術士制度等について、専門分野である道路分野に関連づけて話しました。学生の感想にも、「技術士の資格の重要性が



写真-1 技術士制度について説明する齋藤技術士

理解できた]などの声がありました。

5. 寺西技術士「技術士としての業務取組紹介」

寺西技術士からは、今まで歩んできた経歴や自らの取組んだ業務を“熱く”後輩に語りかけ、計画、設計した仕事実際に施工された時の喜びや達成感、などについて話しました。学生の感想にも、「技術士に対する興味が持てた]などの声がありました。



写真-2 後輩に熱く語る寺西技術士

6. おわりに

終了後に、大学の先生方からは、「講演内容は、学校側の意図を汲んだものであった」、「学生の資格に対する意識付けにも繋がった」など、次年度以降も“是非”との意見もあった一方、一部言葉の表現が学生にはちょっと難しいのでは?の意見もあった。

次年度以降は、表現方法を改善し学生がより理解していけるように工夫し、今後も継続した活動を各種学校で行いたいと思っています。